



平成 20 年 1 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社ドトール・日レスホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 鳥羽 豊  
(コード番号 3087 東証第 1 部)  
問 合 せ 先 取 締 役 木高 毅史  
(広報 IR TEL:03-5459-9177)

### ドトールコーヒーショップ価格改定のお知らせ

株式会社ドトール・日レスホールディングス傘下の株式会社ドトールコーヒーは、全国のドトールコーヒーショップの店舗(平成 19 年 12 月末現在 1,144 店舗)で販売する主要な商品について平成 20 年 3 月 5 日より価格の改定を実施することに至りましたので、お知らせいたします。

ドトールコーヒーでは、従来より、お客様により一層のご満足を頂くために、品質第一主義のもと、コーヒー豆の生産・調達から焙煎・卸・小売に至るまでを一貫して行うことにより、高い品質を維持してまいりました。また、コーヒーの開発だけでなく、コーヒーに合うフードメニューの開発についても、「ハイクオリティ」「ヘルシー」「リーズナブル」「ファッショナブル」をキーワードに、時代のトレンドとお客様のニーズそしてウォンツに合わせて商品を提供しております。

更に、昨年は食品を取り扱う企業の事件が多発し、食の安全性確保が社会的命題となっております。これらの問題についてもドトールコーヒーとして、決して他人事にせず、お客様の信頼を損なわないためにも真剣に対応に取り組む必要があると認識しております。

一方で、原油価格の高騰をはじめ、コーヒー豆・小麦・肉・魚などの原材料価格が急上昇し、人件費や賃料、副資材に至るまでを含め、今後更に価格が高まる見通しとなっております。

これまで本部と加盟店では、コーヒーショップチェーンのプライスリーダーとしての自覚のもと、店舗の効率化を徹底するとともに、取引先の協力のもと継続的な新商品開発や物流改革を行い、また品質を落とさずに管理工程などのオペレーションを変更するといったあらゆる対応策を図ることで、販売価格を据え置いてまいりました。

しかしながら、昨今のコーヒー豆相場をはじめとする原材料費の異常なまでの急騰は内部努力による吸収では賄いきれない状況と判断し、大変遺憾ながら、このたび(平成3年1月以来)17年ぶりの価格改定に踏み切らざるを得ない状況に至りました。

ドトールコーヒーショップでは、“やすらぎと活力”をお客様にお届けするため、最高のクオリティをこれまで以上に徹底して追い求め、また、スタッフの意識・能力向上に注力することで、お客様への心のもったおもてなしを提供することにより、更なる進化を遂げていく所存です。大変心苦しくはございますが、諸般事情をご賢察の上、何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

価格改定業態 全国のドトールコーヒーショップ  
価格改定実施日 平成 20 年 3 月 5 日  
改定価格 主な対象商品とその改定価格は以下の通りとなります

<ドリンク>

アイテム	現行価格	新価格	上げ幅
ブレンド	180円	200円	20円
アメリカン			
エスプレッソ			
本日コーヒー	210円	230円	
カフェラテ	210円	230円	
抹茶白玉フローズン	360円	380円	
マンゴーフローズン	300円	320円	
その他のアイテム	—	—	30円

<フード>

アイテム	現行価格	新価格	上げ幅
デニッシュ	—	—	10円
サンドイッチ	—	—	10円

- \* 価格については全て税込となっております
- \* 今回の価格改定に伴う業績予想の変更はございません。

以上